

第271回 令和8年7月14日（火）

「愛犬の話」

私は幼いころより家に常にペットがいたので、犬や猫なしの生活が物足りなく感じてしまいます。どちらかというと猫好きなのですが妻が犬派だったので7年前に久しぶりのペットで犬を飼いました。初めて小型犬のチワプーを飼ったのですが、平成最後の日に我が家に来たので名前を「ヘイ」と名付けました。

しばらくヘイが愛情独り占めだったのですが、遊び相手が欲しいかなと思い（これが大変なことにつながるのですが）マルポメの「ポン太」が参加します。来たときは狸そっくりで大人しい犬だったのですが家の中では一番偉そうで、先住犬のヘイを完全に掌握しています。現在3歳ですが、身体が小さい割に気性は荒く、散歩では通行人にほえまくりまし、家族にも私以外には吠えることが多いです。特に次男には2階から降りてこようものなら噛みつく勢い、実際に何度も噛みついています。

散歩では半分くらい来ると私に抱っこをせがみます。動かないので仕方なく抱っこしますが風を切って運ばれている姿は完全に「オレサマ」状態です。私には懐いているのでポン太の面倒や苦情受付は私の役割です。

ここにさらに今年から16歳の柴犬が加わりました。実家の母が亡くなったので家に連れてきました。いままで実家に1人で暮らしていて、長男が散歩をさせていたのですが高齢なので連れてきました。いまのところ獣医さんもビックリするほど元気で、ポン太と戦っています。平和主義者のヘイはもっぱら私の膝の上に避難しています。

朝晩3匹を散歩させるのですが、それぞれ我が道を行く性格なので大変です。私も腕が痛いので（特に朝は固まっています）急に引っ張られると辛いのですが、飼い主に気を遣ってくれる奴らではありません。気になる臭いがあると動かないので重労働です。

いずれ最後は猫も飼いたいなと思っていますが、現在はそれどころではありません。ただ3匹の後姿を見るのはとても幸せです。

ペットも長生きになってきていますが赤ちゃんで来たヘイもシニア犬になりました。ペットと一緒に過ごしてくれる時間は限られています。できるだけ幸せな時間を過ごしてほしいと思います。ペットは人生を豊かにしてくれる親友であり、大切な家族です。多頭飼育崩壊などのニュースが後を絶ちませんが、ものすごく心が痛みます。

人生にペットがいることがどれだけありがたいか、言葉ではあらわせないほどです。